

情の後

情のあと、
静けさは、わずかに質を変える。

それは、揺れていない。

すでに、
言葉は通り過ぎている。

理由も、
置かれていない。

残っているのは、
選ばれなかった側にある温度。

触れなかった、という形だけが、
遅れて残る。

どこにも属さないまま、
位置だけが残る。

それは、
強くはない。

消えてもいない。

静けさの底で、
わずかに体温を持つ。

何も起きていない。

ただ、
終わり方だけが、
決まっていない。

そのあとで、
静けさだけが、
少しずれる。

それは、
もう、名前を持たない。

Edition — 静謐の呼吸
別景：情の後

著者：美学思想家 古川玲奈
発行：Raffiné
2026